

発 言 議 員	議 案 件 名 ・ 要 旨	答 弁 者
<p>3番 永沼正人議員</p>	<p>議案第22号 平成16年度羽生市一般会計予算について 10万人～20万人の人口の自治体が行政効率がよいように 何っております。 活気ある町になるためには、若年層の流入及び定着が必要だ と思われまます。 財政危機突破と自主自立都市再建への取組みにおいて財政健 全化のため、様々な予算を削減されておりますが、「第3子出 産祝金の廃止」には、少子化対策に市の市政が後退しているの ではないか、という危惧の念をもちました。また、「福祉施設 整備補助金の2分の1減額」も、これまで保育所等の施設拡充 等に有効に使われており、小さな子供を持つ働くおかあさんの 大きな味方であるところの施設の経営等について、マイナスの 影響を与えるように思います。 財政再建は言うまでもなく必要不可欠なものでありますが、 市独自の福祉サービスに自治体間の格差がでてまいりますと、 羽生市の魅力自体が減じられ、人口もなかなか増えないのでは ないでしょうか。固定費（人件費・公債費）をもっと削り、こ うした市独自のサービスは現状のレベルを維持する、というこ とができないのか、お伺いしたいと思います。</p>	<p>市民福祉部長</p>
<p>8番 藤倉宗義議員</p>	<p>議案第22号 平成16年度羽生市一般会計予算について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商工費の中小企業近代化資金の減額について 不況、足銀などの金融不安の中、減額計上の理由 (15年度) 598,918千円→(16年度) 450,000千円 2. 土木費中、道の駅整備事業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託の内容と整備計画の概要は ・ かなりの集客が見込まれるので、市の収入増として大きな期待 のできるものに 	<p>① 経済環境部長 ② 都市整備部長</p>
<p>1番 小野幸夫議員</p>	<p>議案第22号 平成16年度羽生市一般会計予算について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般職員の増減について(P. 244) 「財政危機突破元年」の平成15年度の予算編成時においては 職員を10人削減し、人件費1億1296万円ほど減額した予 算を組んでいた。16年度予算を見ると、職員が4人増加して いる。増加額は41万円とそれほど多くないが、「財政危機」 を掲げているのに増加させている理由はなぜかお聞かせ願いた い。また、他市ことで申し訳ないが、志木市においては基本的 に市役所職員の採用を凍結し、その分を「行政パートナー」で 補うようである。羽生市はどのように考えているのかお聞かせ 願いたい。 2. 在宅障害者の福祉の充実について(P. 81) 全体の予算規模的には増額となっている。これは障害者の支 援費制度に対する理解が進み、その支給額が増えているためと 推察するがいかがであろうか？ また、本年は新規の事業もない が、今後どのように推進していく予定があるのかお伺いた い。地域の中で共に生きていくための「心のノーマライゼー ション」の普及がどのようになされるのか教えてほしい。 	<p>① 総務部長 ② 市民福祉部長</p>